ottobock.
最高の毎日を作ろう
24時間コンセプト
Quality for life

「24時間コンセプト」

1日を通じて
お子様をサポートする

お子様はとても早い時期からそれぞれの個性を発達させます。お子様は毎日朝起きてから夜寝るまで、自分のまわりの世界を観察し、感じとり、味わったり、匂いを確かめたりします。そのためには、それぞれのお子様に合わせた活動や移動の手段が必要になります。
お子様が自分の活動や移動をできるだけ自分でコントロールすることは、お子様の身体的発達だけでなく、周囲に対する印象や社会との交流にとっても大変重要なことです。

また、日常生活の様々な場面での人や物による適切なサポートは、お子様の能力や可能性を最大限に引き出せるような環境を作り出します。これは、お子様自身の発達をより良いものにするだけでなく、お子様が、ご家族や社会と共により良い生活を送ることに繋がります。

この冊子には、お子様の毎日の生活をどのようにサポートしたら良いかというヒントやアドバイスが書かれています。また、あらゆる年齢のお子様のさまざまな発達段階に対し、1日を通じてサポートし、日常生活を快適にする製品とその機能が説明されています。

食べる、飲む 4
横になる、何かを掴む 6
移動、外出 8
園や学校で 12
自由な遊びの時間 14
動き回る、スポーツ 16
訓練、立位の時間 18
身体をケアする 綺麗にする 20
眠ること、夢見ること 22

食べる、飲む
朝食 – 1日の活動の基本です

朝です! 新しい1日が始まりました。朝食の準備ができています。1日のエネルギーを補給し、落ち着いて朝をスタートさせましょう。食事をとることは人の生活の基本であるだけでなく、コミュニケーションをとることでもあります。

オットーボックとレッキーのシーティングシステムは、食事の間もお子様の体をサポートしています。 お子様がきちんと食べたり飲んだりできるように、骨盤を支えて姿勢が崩れないようにしています。
適切な姿勢をとることは、実際にお子様の活動を助けます。特に嚥下障害のあるお子様(右ページの情報欄をご覧ください)は適切な姿勢をとることが必要です。

家族と一緒に朝食をとることは、新しい冒険の1日への素晴らしいスタートです。

1 スクイーグル シーティングシステムは、身体を安定させることの苦手な 1〜5歳くらいまでのお子様の骨盤、体幹、頭部、脚の位置を保持することで、お子様がより簡単に動くことをサポートします。

2 マイゴー シーティングシステムは、3〜14歳くらいまでのお子様を対象としており、優れた骨盤のサポートシステムにより、お子様の姿勢と動きを支えます。2つのサイズがあり、お子様のニーズに合わせた調整が可能で、不適切な姿勢を防ぎます。

3 キット シーティングシステムには、12歳以上のお子様用と成人向けの2サイズを用意しています。KITを使用することで、適切な姿勢で食事することができます。

1

スクイーグル シーティングシステム
サイズ 1 1-5 歳

2

マイゴー シーティングシステム
サイズ 1 3-10 歳
サイズ 2 8-14 歳

3

キット シーティングシステム
サイズ 1 12-18 歳
サイズ 2 16 歳〜

LECKEY

▶ 嚥下障害

嚥下障害とは、通常「嚥下反射」と呼ばれる筋肉・関節・唾液腺の一連のはたらきが、上手くコントロールされず、スムーズな飲み込みができない状態です。
頭部と身体のポジションが不適切な事も、この嚥下障害の要因となるため、機器を使用することで、適切な姿勢を作り、安定させることが重要です。

嚥下障害をもつお子様は、摂食障害、栄養不良、脱水症状、発熱、気管支炎、誤嚥（食物を気管内に飲込んでしまう）などの重篤な合併症を防ぐために、どのような場面でも見守る必要があります。

横になる、何かを掴む
最初の活動 – 人生の最良のスタートを踏み出しましょう

世界は大きく、魅力に満ちています。そのことは、特に横になって何かを観察している時に格段に感じられます。生後2～3週間の内に、お子様は世界を探検し始め、動き出します。どんな姿勢をとっている時でも、お子様の前には新しく、興味のある世界が広がっています。

お子様が自分で動くことができない、または座ることができない場合に、オットーボックとレッキーはEASやESSのような製品を提案しています。EASやESSは、お子様が今までとは違う姿勢をとることをサポートをし、その姿勢に「慣れ親しむこと」で訓練となり、骨や筋肉の発達によりよい影響をもたらします。

身体を動かすことは、お子様の身体的な発達に必要なことです。
それだけでなく、感覚や認知の能力を引き出し、それらが周りの人や環境との、言葉だけでないコミュニケーションを生み出すのです。

お子様は世界を探検し続け、それを掴むことができるのです。

1 EASは、生後数カ月から始まるお子様の発達をサポートします。EASを構成するマットとさまざまなクッション製品は、お子様にとって最も重要な姿勢である仰向け、横向き、腹ばい、座位、四つばい を学習するために効果的です。

2 ESSは、モジュール式の製品で、座りはじめたお子様が足を伸ばしてしっかり座ることをサポートします。座っている間もダイナミックに体幹を動かすことができ、バランス感覚を養うことができます。

3 コンパクトで持ち運びできるコーナーシートは、軽度の障害のある1歳から14歳までのお子様向けの製品です。お子様は適度なサポートを受けながら、自由に身体を動かすことができます。

4 プレイパックは、EASと同様に、生後数か月～の小さいお子様の姿勢や運動発達をサポートしながら、お子様のより良い発達のベースを作ることを目的とした道具です。
EASをより簡便に、コンパクトにし、ご家族の皆様にも使い易く工夫しました。
開いたバッグがソフトマットになり、どこでもお子様との時間を過ごすことが出来ます。

※オットーボックwebサイト販売商品

LECKEY

1

EAS
サイズ 1　1-36 カ月

2

ESS
サイズ 1　18-48 カ月

3 （国内未発売品）

コーナー シート
サイズ 1　1.5-6 歳
サイズ 2　5-9 歳
サイズ 3　8-14歳

4

プレイパック
サイズ 1　1-24 カ月

▶ 生後数カ月のサポート

寝返りをうったり、座ることができるようになるまでに少し時間がかかるように、お子様の全体的な発達はある程度の時間がかかるものです。いずれの発達段階においても、前の段階の動作や姿勢をしっかり習得してから次の段階に移ります。身体を動かすことは認知機能の発達においても重要なことです。だからこそお子様をできるだけ早くから積極的にサポートすることが必要となります。

- お子様の発達における、それぞれのステップについて知りましょう。
- セラピストの方と一緒に現実的なゴール設定して取組みましょう。
- お子様には、安全の配慮と適度な手助けが必要です。しかし、手助けをしすぎないようにしましょう。
- たくさんの面白い刺激を与えましょう。

EAS（早期アクティビティシステム）の取扱説明書には、他にも多くのヒントが載っていますのでご覧ください。

移動、外出
活動の始まり – 安全に出かけましょう

もうこんな時間! 出かけなくちゃ。園や学校に行くために、車に乗っている間やバスや電車を利用している間、そして歩いている間にも、お子様にはしっかりとしたサポートが必要です。また、お子様の周りにも気を配らなくてはなりません。

オットーボックのバギーやカーシートは移動時にお子様の心身が緊張するのを和らげ、その後の訓練や活動をスムーズにします。バギーやカーシートは、お子様の成長に合わせて調整することができ、また症状の変化にも合わせることが可能です。さまざまな種類のオプションを使用することで、製品を色々な形状に変えることができます。いずれの場合も、安全で快適な移動をすることが目的となります。

さあ、準備が整ったら、出発しましょう。

1

キンバ ネオ
サイズ 1 1-6 歳
サイズ 2 4-10 歳

2

キンバ ネオ (呼吸器対応フレーム)
サイズ 1 1-6 歳
サイズ 2 4-10 歳

3 (国内未発売品)

リサ
サイズ 1 3-8 歳
サイズ 2 6-16 歳

4 (国内未発売品)

エコバギー
サイズ 1 5-10

5 (国内未発売品)

ラーズ
サイズ 1 2-6 歳
サイズ 2 4-10 歳

1 姿勢のサポートが必要な1歳から10歳までのお子様には、バギー:「キンバ ネオ」が向いています。
キンバ ネオには衝撃を吸収するサスペンションがあり、快適であるだけでなく、振動・衝撃による発作を起こしにくくします。
またシートは椅子状にもフルフラットにもでき、さまざまなお子様のニーズに合わせることができます。

2 シート取付位置を、標準フレームより8.5cm高くして、シート下に大きな搭載台を取付けたモデルです。フレーム耐荷重は90kgに強化され、呼吸器や吸引器、酸素ボンベなど、お子様が必要とする医療機器を、安心して運ぶことができます。

3 3歳から16歳までのお子様が街中を移動したり、旅行する場合には、リサが適しています。リサはコンパクトで軽量、折畳みが可能でありながら、頑丈でしっかりしています。前輪が回転するので、狭いスペースでも簡単に移動することができます。

4 軽量で取扱いが簡単なエコバギーは、3歳から8歳のお子様が軽快に楽々と移動するのに適した製品です。石畳や平たんでない場所でも簡単に操作することができます。

5 ラーズは2歳から10歳までのお子様用のカーシートです。車のドアに向けてシートを回転させることができるため、簡単にお子様を乗せ、シートのバックルを締めることができます。

お子様に合ったバギーを選択していただくために

保護者と医療従事者の方がお子様にとって適切なバギーを選択する目安として、下記の幾つかの質問に答えてみてください：

- お子様の年齢は？ お子様はバギーにどの位の時間座りますか?
- お子様に必要なことは？ 治療のゴールは何ですか?
- どのような状況でバギー使用しますか?異なった環境にどの程度適応させる必要がありますか?
- バギーは主にどこで使用されますか？ 車で移動することがありますか?
- 車で移動、または公共交通手段を利用する場合、どの程度簡単に使用したいですか?

次ページのチェックリストもご覧ください。

どのようなバギーを選べばよいのでしょうか?

この質問には簡単に答えることはできません。選択する基準が「お子様にとって必要なことは何か」ということだからです。
ここでは、「バギー」と一般的なの「ベビーカー」との大きな違いをご説明します。

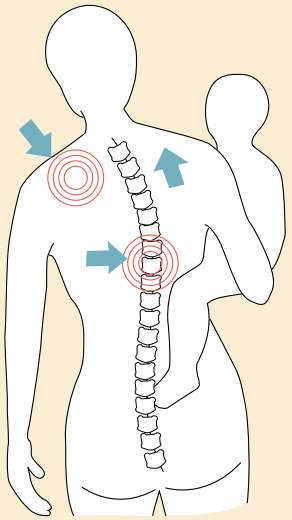
長時間集中することが難しかったり、座位をとりにくいお子様が長距離の移動をする場合は、一般的なベビーカーを選択することはお勧めしません。「バギー」はそのようなお子様の移動を目的に設計されています。
このようなバギーは、より大きな耐荷重で設計されており、市販のベビーカーより、大きなお子様にも対応できます。また、全てのバギーにはお子様に必要なしっかりしたフットサポートがついており、お子様の体を守り、背筋を伸ばして座れるようにサポートしますので、お子様の認知機能の発達も高めます。また、シートがリクライニングできるように設計されており、少したわむようになっています。

お子様の座位が非常に不安定な場合は、姿勢をサポートできるバギーを選ぶ必要があります。お子様は、適切で安定した支えを必要とするため、しっかりしたベース(座面や背もたれ)が重要です。このようなお子様の為のバギーは、ベースの部分にアルミの板が使用され、それぞれのお子様のニーズに合わせてクッションやパッド、ベルトを取り付けることができます。また座面全体を傾けるチルト機構や、フットレストの細かい調整機能を備えたバギーもあります。

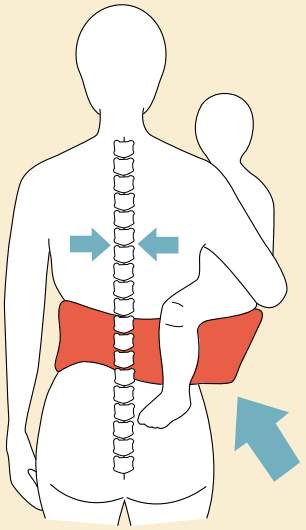
バギーに求める機能	キンバネオ	バギー 1	バギー 2	バギー3
姿勢のサポート	○			
活動姿勢と休息姿勢の切替え	○			
衝撃を和らげるサスペンション機構	○			
体重に合わせたサスペンションの調整	○			
座面のサイズ調整機能(成長対応)	○			
頭部/骨盤サポートの調整機能	○			
リクライニング機能	○			
お子様と向かい合える対面シート機能	○			
しっかりとしたフレーム	○			
軽く動かせる大きめの車輪	○			
デコボコ道に対応できる前輪キャスターのロック機構	○			
デザイン	○			
呼吸器など必要な機器を搭載するスペースと強度	○			

▶ 快適にお子様を抱っこするために

お子様を抱っこして移動することもよくあります。これにより、保護者の方の背中・腰に大きな負荷がかかります。お子様を片手で抱いて、もう一方の手で家事をすることも多々あります。
負荷の掛る姿勢をとるとすぐに背中・腰を痛めてしまいますので、できるだけ背中・腰に負担のかからない姿勢をとる必要があります。



抱っこ用ベルト無し



抱っこ用ベルト有り
例：EasyRider® オットーボックから入手可能（国内未発売品）

保護者の背中・腰を守る10のヒント

1. ゆったりした動きを心がけて、深呼吸をしましょう。
2. 他の方がお子様の面倒をみている間に手のかかる家事を済ませてしまいましょう。
3. 何か作業をする時は、なるべくお子様を下におろしましょう。
4. 両脚でしっかりと地面を踏んで安定した姿勢で立ちましょう。
5. 腰を「固定」して、負荷を直接受けないようにしましょう。
6. 腰よりも高い位置でお子様を抱えると、身体に負荷がかかりやすくなります。
7. お子様を抱いたままで前や横に身体を傾けないようにしましょう。
8. できるだけ背筋を伸ばしましょう。（胸を張ると肩が引けて、自然と背筋が伸びます。）
9. 腰を曲げて重いものを持ち上げないようにしましょう。その場合は背筋を伸ばして膝を使って持ち上げましょう。
10. 背中・腰の筋力をつける運動をしましょう。

園や学校で
昼食までのワクワクする時間 – いろんなことを学びましょう

「おはよう みんな！」お友達はもう席についています。園や学校でお子様はさまざまな刺激を受け、集中することを学び、知識を得ます。それは、社会性を身につける上で重要なことです。

お子様が学習をする時間は、安定した、快適な姿勢を保つ必要があります。シーティングシステムは、お子様が園や学校で ①課題を達成するために適した姿勢のコントロール、②快適性、③皮膚を守る、という3つの基準を満たさなくてはなりません。
オットーボックとレッキーのシーティングシステムは、調整可能なさまざまなパッド類を使用することで、骨盤を安定させるだけでなく、体幹、頭部、脚のポジションをサポートします。骨盤が安定することにより、体幹と頭部の位置を適切に保つだけでなく、集中することや、手や腕を自由に動かすことができるようになります。

このようにして先生や友達と自然にコミュニケーションをとることができます。

1 PALは調整が可能な木製フレームの椅子で、テーブルに座りながらみんなと一緒に活動に参加することもできます。さまざまなベースと組合せることができます。

2 スクイーグル シーティングシステムは、身体を安定させることの苦手な 1～5歳くらいまでのお子様用です。シートは骨盤・体幹 頭部と足の位置を適切にサポートします。

3 マイゴー シーティングシステムは、3～14歳くらいまでのお子様を対象としており、優れた骨盤のサポートシステムにより、お子様の姿勢と動きを支えます。2つのサイズがあり、お子様のニーズに合わせた調整が可能で、不適切な姿勢を防ぎます。

4 キット シーティングシステムには、12歳以上のお子様用と成人向けの2サイズを用意しています。KITを使用することで例えば適切な姿勢で食事をすることなどができます。

LECKEY

1 (国内未発売品)

PAL
サイズ 1　1-3 歳
サイズ 2　2-5 歳
サイズ 3　7-12 歳

2

スクイーグル シーティングシステム
サイズ 1　1-5 歳

3

マイゴー シーティングシステム
サイズ 1　3-10 歳
サイズ 2　8-14 歳

4

キット シーティングシステム
サイズ 1　12-18 歳
サイズ 2　16 歳～

なぜ座ることが重要なのでしょうか?

座る姿勢は、お子様が一人で活動したり動いたりするために必要な要素です。
この姿勢が重要な理由として、下記の点が挙げられます。

- 頭部、体幹のバランス感覚を養うことができる。
- 筋力を鍛えることができる。
- メンタリティが発達する。
- 刺激を受けることができる。
- 社会生活に参加できる。

1人で座ることのできないお子様には早期のサポートが必要です。そうすることで、お子様は不安定な姿勢を維持するためにエネルギーを使わなくて済み、自分の周りの人や環境と向き合うことができます。

自由な遊びの時間
さあ、世界を探検しましょう

やっと自由時間がやってきた。世界を、自分の家をお友達と探検しよう。遊んでいる間にお子様は感動と経験を蓄積し、身体と心を発達させ、自信を得て、より社会的な行動がとれるようになります。

そのためには、動くことや他の人々と交流する能力が必要になってきます。お子様は生後18カ月くらいまでの間に立つ姿勢をとり、自分の足に体重をかける経験が必要です。このタイミングが大きく遅れると、将来立ったり歩いたりすることが難しくなる可能性があります。
自分の体重を支え、骨や関節に負荷をかけることにより、立位や歩行に重要な股関節の形成や発達が促されるからです。

オットーボックのさまざまな歩行器は、お子様にとって重要な立位の姿勢と歩行をサポートします。
歩行器のフレームは、お子様の前側か後側のどちらかにあります。フレームが前側にある場合（前方支持型）は不安定な歩行を安定させることができます。 フレームが後ろ側にある場合（後方支持型）には、より体幹をコントロールする筋肉を使うことになります。

さあ、自分の目の高さで世界を見わたしてみましょう。

1

キッドウォーク

サイズ 1　1-7 歳
サイズ 2　5-12 歳

2

ヌルミ ネオ

サイズ 1　～125 cm
サイズ 2　～145 cm
サイズ 3　～160 cm

3 （国内未発売品）

ウォークスター

サイズ 1/2　～ 144 cm
サイズ 1　～ 122 cm
サイズ 2　～ 137 cm
サイズ 3　～ 155 cm
サイズ 4　～ 175 cm

4 （国内未発売品）

ヨギ

サイズ 1　～ 145 cm
サイズ 2　～ 160 cm

5

アップシー

サイズ XS　1～2歳
サイズ S　2～4歳
サイズ M　4～6歳
サイズ L　6～8歳

1 キッドウォークは、立位や歩行が非常に困難な、1歳から12歳くらいのお子様の立位と歩行をサポートする歩行器です。骨盤と体幹を独自の方法でサポートし、他の人の手を借りずに、お子様自身が自然な立位・歩行を行うことができます。キッドウォークは、子ども本来の発達過程を考慮して設計された歩行器です。

2 ヌルミ ネオは、折りたたみが可能な後方支持型の歩行器です。3つのサイズがあり10代半ばくらいまでのお子様に対応しています。お子様が前を向き、歩行器を引っ張ることで、身体を伸ばして歩けるように設計されています。
さまざまなハンドルや骨盤サポートによって、お子様の状態に合わせた最適な調整ができます。

3 ウォークスターは、ヌルミよりも軽量な後方支持型の歩行器で、より身体能力の高いユーザーに適しています。
サイズは5種類あり、子どもから成人まで対応しています。

4 ヨギは、折りたたみ可能な前方支持型の歩行器で、10代半ばくらいまでのお子様に対応しています。
自分の力で体重を支える事ができるが、歩行が難しいお子様に向いています。

5 アップシーは、一人で立ったり歩いたりするのが難しい1歳から8歳くらいまでのお子様が、大人の介助によって立ったり歩いたりするのをサポートするためのベルト・ハーネスのセットです。
独自のハーネスとサンダルで、介助者とお子様の脚を連動させ。お子様の脚の動きを引き出しながら、日常生活の様々な活動をお子様と一緒に楽しむことができます。

なぜ、歩くという運動が大事なのでしょうか?

身体の発達
- 筋力を鍛える
- 筋肉の協調性、体の位置や運動の認識、バランス感覚を養う
- 股関節を伸ばし、骨盤を起こしやすくする

神経系の発達
- 空間認識を養う
- 知覚の発達を促す

社会性の発達
- 同じ目線でコンタクトがとれる
- 周囲の環境により関わりやすくなる

心理的な発達
- 自立性を促す
- 自信を高める

動き回る、スポーツ
太陽の下で － もっと元気に！

風を体に受ける、活動する、世界と一体になるのを感じよう。歩行器を使うことのできないお子様でも、一人で自由に動いたり、他の子どもと一緒に外で遊びたいのです。

オットーボックでは、あらゆる年齢層、あらゆる障害に対応する小児用・青少年用の多様な車いすやスポーツ用車いすを展開しています。「できる限り一人で活動できるように、必要なだけのサポートを提供する」という信念にのもとに作られています。
車いすはお子様を安全にサポートするだけでなく、姿勢を保持し、お子様の皮膚を守る必要があります。また、日常生活に簡単に溶け込まなくてはなりません。車いすの販売店やスタッフはお子様のニーズに合わせて車いすを調整してくれます。

お子様には、自分の意思で動く権利があります。そして世界の中に自分自身の居場所を得る権利があります。

1 （国内未発売品）

スキッピー

2 （国内未発売品）

ブラボーレーサー

3

アバンギャルドティーン 2
アバンギャルドティーン 2VR

4

ベンタス

5

スクート

1 小児用電動車いす スキッピーには、オプションでシート昇降機やさまざまなコントロール機能を付けることができます。車いすを自力で動かすことができないお子様でも一人で動きまわり、探検をしたいという願いを可能にします。

2 ブラボーレーサーは、より活動的に動きたいお子様に適した車いすです。
リジッドフレームは剛性が高く、漕ぎやすさのためのさまざまな調整機能を備えています。また、前方フレームが外側に広がっているため、股関節の外転や下肢装具との併用にも対応できます。

3 10代半ばまでのユーザーに適しているのがアバンギャルドティーン / ティーンVRです。
駆動や操作が簡単で、フレームは折りたたみが可能です。前方フレームが外側に広がっているため、股関節の外転や下肢装具との併用にも対応できます。

4 活発なお子様への車いすの新しい提案として、リジッドフレームを採用したのがベンタスです。たわみの少ないフレームは、座りやすさ、漕ぎやすさを生み出し、お子様の動きたい気持ちを最大限に発揮するパートナーとなります。

5 お子様がまだ小さくても、自分の意志で動き、好きな所へ行く体験は、とても大切です。スクートは、お子様の身体能力や使用環境に合わせて、はいはい、床座位、足漕ぎの3種類に活用できる、新しい移動補助具です。

※オットーボックwebサイト販売商品

どんな車いすを選べばよいのでしょうか?

お子様にどのような車いすが最適か、という一般的な定義はありません。

通常は、障害の度合いが大きいほど、姿勢のサポートが重要になり、安全性や安定性、ニーズに合わせたオプションも、併せて考える必要があります。

- お子様が、ひとりで車いすを操作し、こいで移動することができる場合は、アクティブなタイプの自走式車いすがおすすめです。
- 筋力が充分でなかったり、車いすをこぐための身体のコントロールが難しい場合は、電動車いすがお子様の移動をサポートします。ボタンスイッチやジョイスティックなど、お子様の身体能力に合わせた操作方法を選ぶことができます。
- 環境制御装置は、より高度なテクノロジーを活用して、お子様の自立性を高めるものです。赤外線、無線、ブルートゥースを利用して、ドアを開閉したり、コンピューターや色々な装置を操作することができます。

訓練、 立位の時間

午後の訓練の始まり – よりよい発達のために

午後の訓練が始まりました。立位保持具を使用します。たとえサポートを受けながらでも、立つことは生理学的・社会的に非常に重要なことなのです。

お子様の成長期の早い段階に立位訓練を始めることは、股関節の適切な発達を促す大事な要素です。 もしこの機会が十分に得られないと、骨格、関節や筋肉、神経の十分な発達が得られず、生活動作に適した姿勢を取ったり、身体をコントロールすることが難しくなることがあります。

1人で立つことができないお子様もオットーボックやレッキーの機器を使用することで立つことができます。オットーボックやレッキーには、年齢や発達の段階に合わせて、お子様のさまざまなニーズを満たす立位保持具があります。
お子様が筋力をつけ、可能な限りの活動ができるように、また不適切な姿勢をとらないように、必要なだけのサポートをするというコンセプトで開発されています。

さあ、立位の時間を楽しみましょう。

1 トットスタンダーは1歳から5歳のお子様が訓練の間に能動的に真っ直ぐに立つことをサポートするシンプルな起立保持具です。

2 プローンスタンダーは、ポジショニング機能を備えた立位保持具で、医療上の理由で臥位（寝る姿勢）以外の姿勢が必要なお子様向けの製品です。3つのサイズがあり、17歳くらいまでのお子様を対象としています。

3 スクイーグルスタンダーは、お子様が社会的に、生理学的に発達できるよう早期のサポートを提供します。1歳から約5歳までのお子様が立位の状態で生活に参加できるようになります。

4 マイゴースタンダーは、より複雑なサポートが必要なケースに適した立位保持具です。4歳から10代半ばくらいまでのお子様が使用できます。膝のサポートやフットプレートに独自の調整機能を備え、股関節や膝に可動域制限のあるお子様も、より適切な立位訓練が可能です。

5 ホライゾンスタンダーは4歳から18歳向けの、電動制御できる安定した立位保持具です。仰向けやうつ伏せの状態でも使用できます。

6 スタンディング フレームは6歳のお子様から大人までが使用できる製品です。お子様、使用者の筋力に合わせ、手動、または補助ストラップシステムを使用し、一人でも座位⇔立位の姿勢変換が可能です。徐々に1人で立てる状態にします。

LECKEY

1 （国内未発売品）

トットスタンダー
サイズ 1　1-5 歳

2 （国内未発売品）

プローンスタンダー
サイズ 1　1-5 歳
サイズ 2　4-9.5 歳
サイズ 3　9-17 歳

3

スクイーグル スタンダー
サイズ 1　1-5 歳

4 （国内未発売品）

マイゴースタンダー
サイズ 1　4-10 歳
サイズ 2　8-14 歳

5 （国内未発売品）

ホライゾンスタンダー
サイズ 1　4-10 歳
サイズ 2　10-18 歳

6 （国内未発売品）

スタンディング フレーム
サイズ 1　～140 cm
サイズ 2　～成人

立位保持具の適切な活用方法

立位は、お子様の筋肉を伸ばす姿勢です。筋肉が短縮しているお子様は、立位訓練のプログラムを、できるだけ毎日取り入れることをお勧めします。立位により、日常の活動にも積極的に参加できるようになります。真っ直ぐに立つことを実践しましょう。なるべく身体全体を伸ばす訓練を行いましょう。お子様の症状によっては、うつ伏せ（プローン）、または仰向け（スーパイン）にする立位保持具が必要となります。

お子様の筋肉が低緊張の場合は、最初から足に体重を掛けることが難しい場合もあるので、仰向けになった姿勢から始めてください。これはまた病気による運動パターンをもつお子様や後ろに反り返りすぎるお子様にも適応します。

呼吸器に問題のあるお子様は咳き込んで吐いた物を飲込むおそれがありますので、うつぶせの状態から立位保持具を使い始めるのがよいでしょう。この状態では、お子様は手や上肢を使って身体を支える訓練もできます。

身体をケアする　綺麗にする

長い一日が終わりました ― お風呂に入りましょう

今日も色々ありました。さあ、お風呂の時間です。
入浴は、お子様と保護者の方にとって、訓練の時間ではありません。
機器を上手に使い入浴を楽しい時間にしましょう。

お子様の身体を洗い、マッサージし、お風呂の中で遊んだり、コミュニケーションをとりながら、なおかつお子様の安全に注意を払うことは難しいことです。毎日のことですから、入浴介助機器はどなたにとっても重要なものです。

シャワーを浴びたり、お風呂に入ることが楽しければ、お子様は身体を清潔にすることが一日の内で重要なことであると理解しやすくなるでしょう。子供はお父さん、お母さんと触れ合うことが大好きです。（右ページの「基礎的な刺激」の項目を参照ください。）シャワーや入浴をサポートする製品は、お子様にとって楽で快適なものです。また、保護者の方にとっても同様です。滑りやすい床の上でも安全性が向上します。また、リフトを使用するとお子様を簡単に持ち上げることができます。

今日も一日、よく動きましたね。

1

ロビー バスチェア

サイズ 1　3-13 歳
サイズ 2　8-18 歳

2

レッキー バスチェア

サイズ 1　1-5 歳
サイズ 2　4-9 歳
サイズ 3　8-14 歳
サイズ 4　12-18 歳

3 （国内未発売品）

ハブフィックス

サイズ 1　～ 30 kg
サイズ 2　～ 45 kg
サイズ 3　～ 55 kg

4

シャワートローリー

フリーサイズ（伸縮可能）

1 ロビーバスチェアは、本体に脚がなく床に直接置くため、安定性が高く、また少量のお湯でもお子様が入浴しやすくなります。本体は軽量で、小さく折りたためるため、移動や保管にも便利です。サイズは2種類あります。

2 レッキーバスチェアは、脚付きのバスチェアで、日常の入浴が楽になります。座面や背もたれの角度が調節できます。移動用のベース（④シャワートローリー）も用意しています。

3 ハブフィックスは、浴槽内に設置するロビー用のリフト（昇降機）で、お子様の入浴をより簡単にします。

基礎的な刺激

お子様をお風呂に入れたり、洗うことで、セラピーの一つである基礎刺激を実践することができます。基礎刺激とは感覚を刺激することで、お子様の知覚のトレーニング、言葉を使わないコミュニケーションを発達させることができます。
日常生活の中で意識して基礎刺激を使ってみましょう。

基礎刺激とは：

- 聴覚への刺激：例えば、歌う、ハミングする、話しかける、リズムをとること
- 視覚への刺激：例えば、明かり、色、水の中でのゲーム、動くこと
- 触覚への刺激：例えば、身体をなでる、シャワーをかけること
- 身体への刺激：例えば、姿勢を変える、マッサージする、揺らすこと
- 嗅覚への刺激：例えば、花、食物など
- 味覚への刺激：例えば、美味しい食事

眠ること、夢見ること
月がでました – 楽しい夢をみましょう

リラックスして、ぐっすり眠り、今日の1日の楽しかったことを夢みましょう。
お子様がリラックスでき、また緊張が少なければ、ポジショニングが正しく、上手くできていると言えます。

これは、単ににリラックスしている、というだけでなく、身体にかかる圧が分散していて、適度な温度が保たれている、ということです。

そのために、オットーボックとレッキーは特別なマットレスと必要なアクセサリーを提供しています。保護者の方はお子様にとって最適なポジションを知っています。セラピストの方はその他に注意することを説明してくれます。お子様は夜眠っている間に元気を取り戻すことができます。さらに、的確なポジショニングはお子様の身体的な発達も促進させます。

そして、お子様は眠っている間にも育っていくのです。

1 スリープフォームは0歳から18歳までのお子様が休息をとる、または眠っている間の姿勢をサポートします。空気を抜いてお子様に合わせて形を作ることができる特別なマットレス、圧を分散させ、通気性を保つエアフローマットレスと、温度を調整する機能のあるシートはお子様をサポートし、リラックスさせることができます。

LECKEY

1

スリープフォーム

サイズ 1* 0-1 歳
サイズ 2* 1-5 歳
サイズ 3** 1-5 歳
サイズ 4** 5-18 歳

* 小児用ベッドサイズ
** シングルベッドサイズ

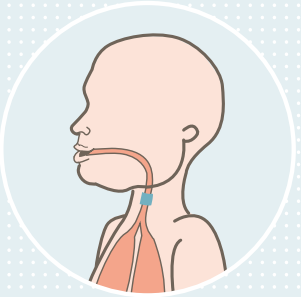
▶ 睡眠中のポジショニングはなぜ大切なのでしょうか?

お子様は1日のうちの多くの時間を横になって過ごします。この時の姿勢の適切なポジショニングは身体を発達させるための重要なステップであり、その後のお子様の運動能力を左右します。一般的な家庭にあるポジショニングチューブ、枕、タオル、毛布は所定の位置からずれてしまい、以下のような非常に望ましくない結果を引き起す可能性があります。

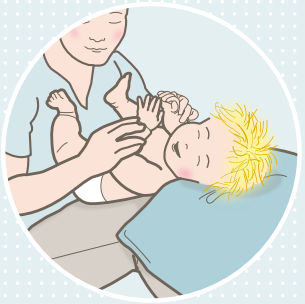
- お子様が悪いポジショニングに戻ってしまう。
- 圧力の分散に適した素材が使用されていないと、肌の弱い部分が傷ついたり、骨の出ている特定の箇所の圧力が高まってしまう。
- 頭部と体幹へのサポートがないために嚥下や呼吸がしにくくなる。
- 筋緊張のあるお子様は枕の下にもぐってしまいがちで窒息のおそれがある。

寝ている時の適切なポジショニングシステムは、お子様の成長を助け、より質の高い睡眠の時間を提供します。

3 身体の知覚を促通させる



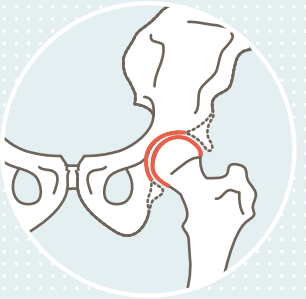
4 嚥下や食事をとる機能を向上させる



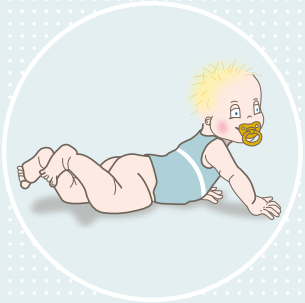
2 人と触れ合うことや、外部への認識を高める

Why lie?

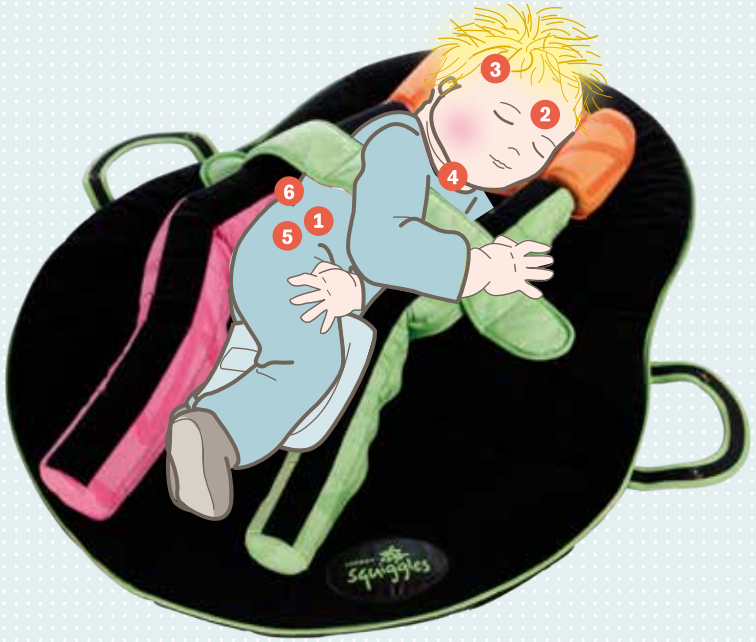
適切な姿勢で横たわると、よりよい発達の可能性を得られます

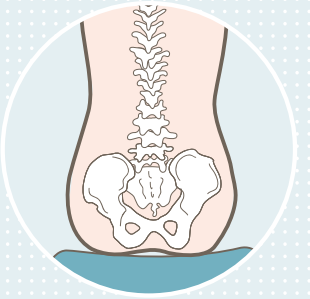


5 早期発達期における股関節の形成を促進する



1 お子様が、自分の中心線（正中線）で身体と頭のバランスをとることを助ける
また、頭と体幹を安定させることで、さまざまな姿勢の基礎を作る

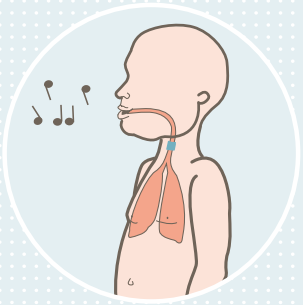




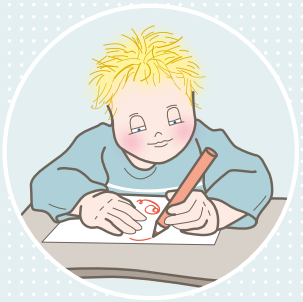
6 適切な姿勢・運動により、変形を予防する

Why sit?

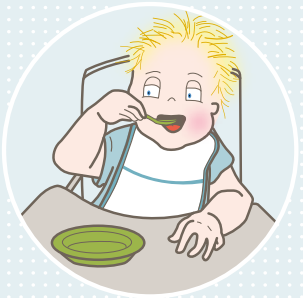
適切な座位姿勢はお子様の可能性をさらに拡げます。



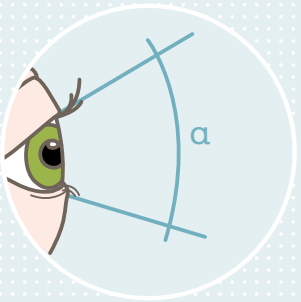
3 呼吸器の機能を高めて声をコントロールできる



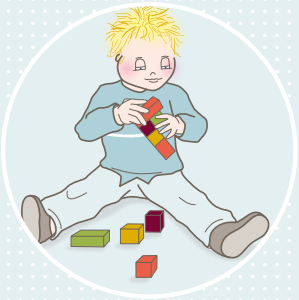
4 さらに自立できる



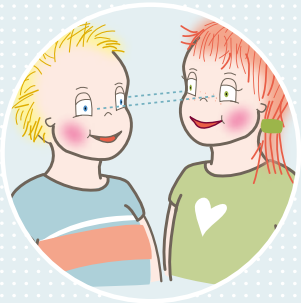
5 食物を摂取し、口と舌の運動機能を高める



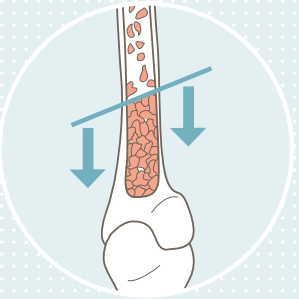
6 より広い視野を得ることができる



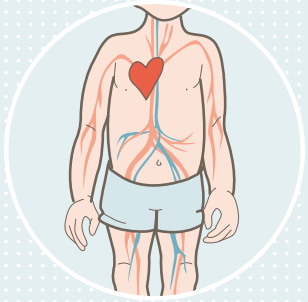
7 身体を手で支える必要がなく、手で握ったり感じたりして遊ぶ機会が増える



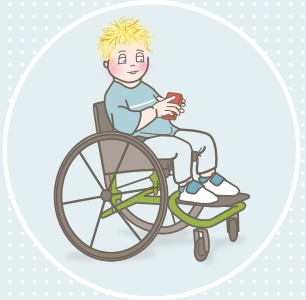
2 お友達と同じ目線でコミュニケーションをとることができる



8 骨の成長を促す



1 血圧を高めて、血液の循環をよくする

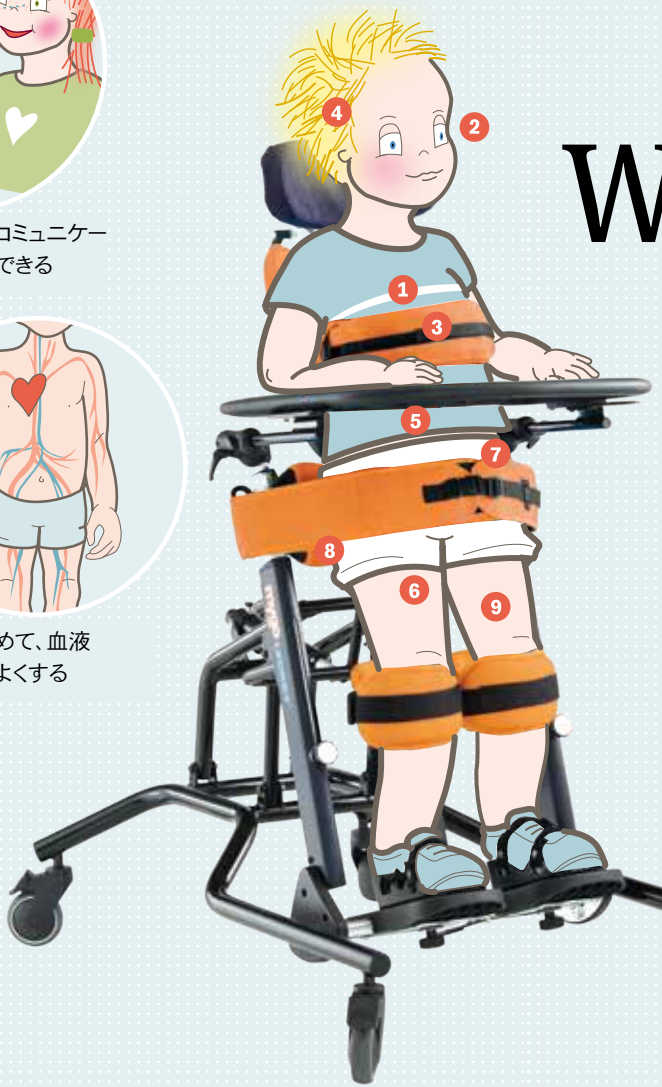


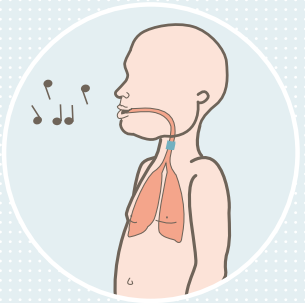
10 移動に適した姿勢を作る

9 周りの人や環境を認識しやすくする

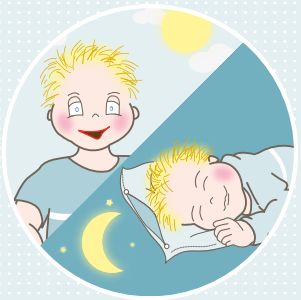
Why stand?

立つ姿勢には、お子様の心身の発達を促すたくさんの要素が含まれています

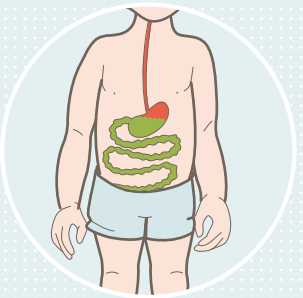




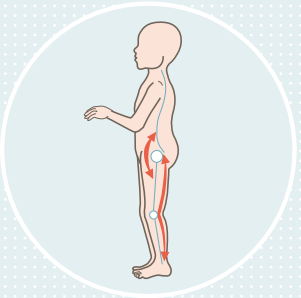
3 呼吸器の機能を高めて声をコントロールできる



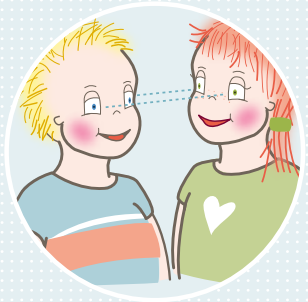
4 健康な状態、睡眠と覚醒のリズムを向上させる



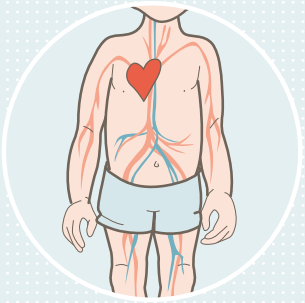
5 消化と吸収の機能、排尿の助けをする



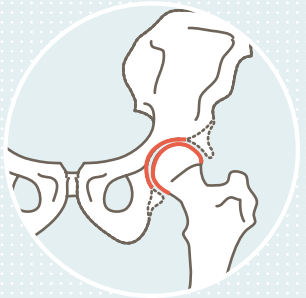
6 筋肉を伸ばし、拘縮を防ぐ



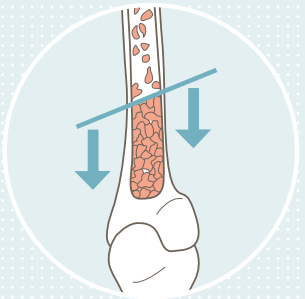
2 友達と同じ目線でコミュニケーションをとることができる



1 血圧を高めて、血液の循環をよくする



7 早期発達期において股関節の形成を促進する



9 骨が強くなり、骨折の危険が少なくなる

8 座っている間の圧を分散させ皮膚を正常に保つ

Notes

In partnership with

LECKEY

PRIME ENGINEERING

お問合せ先

オットーボック・ジャパン株式会社　〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44　横河ビル8F
www.ottobock.co.jp　　TEL 03-3798-2111 (代表)　FAX 03-3798-2112

© Ottobock · 646B79=EN-01-1209 · Technical changes reserved. MS-20150403-PIT